

# 市民版

◇プログラミング教材寄付  
東海製作所(中川区)は15日、地元の市立篠原小学校に6年生向けのプログラミング教材14組を寄付した。

児童は授業で配布されているタブレットを使ってプログラムを組み、ブロック玩具で作った物を動かす。市役所で市教委の鈴木誠二教育長に教材を手渡した東海製作所の丹羽雄二代表取締役(写真左)は「最近の教材は進化している。将来を担う若い人を後押ししたい」と話した。



# 市民版

## 街角ニュース

◇小学校に教材を寄付  
店頭ディスプレイ用商品の企画製造「東海製作所」(中川区)は、小学生向けのプログラミング用教材を常磐小(同)に寄付した。同社の丹羽雄二代表は「子どもたちの成長のサポートになれば」と話す。

プログラミングは、2020年度から小学校で必修化されているが、「教材が高価でなかなかそろえられない」と述べた。



感謝状を受け取る丹羽さん(左)＝市役所で

「ない」といった課題を知った丹羽さんが寄付を申し出た。これまでに同区の篠原小にも寄付している。市役所で感謝状の贈呈式が10日にあり、鈴木誠二教育長から感謝状が手渡された。丹羽さんは「国際競争力を身に付けるためにもプログラミング学習は大事。しっかりマスターしてほしい」と述べた。